

図書便り

情報コーナーでは、男女共同参画に関する約1,600冊の図書の貸出しを行っています。ぜひご利用ください！



2018年 1月 おすすめ図書特集

笑顔のママと僕と息子と973日間 シングルファーザーは今日も奮闘中

清水健/著
小学館/刊

関西の人気キャスター“シミケン”、最愛の妻・奈緒さんを乳がんで亡くし、その時生後112日だった息子との日常。「これが最大の悲しみなら、あとの人生、前を向いて進もうよ。」と退社を決断し歩き始めるまでの973日間を綴る。

ワンオペ育児 わかってほしい休めない日常

藤田結子/著
毎日新聞出版/刊

「ワンオペ」という言葉は、ブラック企業の「ワンオペレーション（1人作業）」が母親たちの育児や家事の状況とそっくりなことから、ネット上を中心に使われ始めた。幼い子どもを育てる女性とその周辺の人たち、その父親たちからも聞いた話をまとめている。

シングルマザーをひとりぼっちにしないために ～ママたちが本当にやってほしいこと～

シンママ大阪応援団/編 芦田麗子/監
日本機関紙出版センター/刊

孤立していた4人のシングルマザーたちが語り合った初めての座談会。貧困と社会の眼差しに向き合いながら、何よりも子どもの幸せを願うシンママたちの人生を支援するために必要なことは何なのか、を考える。

後悔しない「親の家」片づけ入門 カツオが磯野家を片づける日

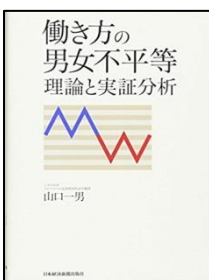
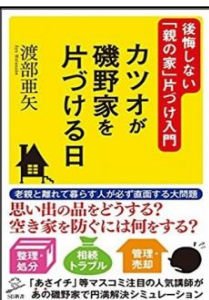
渡部亜矢/著
S B新書/刊

親の介護や死に直面すると、相続などと並行して、実家に残された親の荷物の整理、空き家管理、売却、解体など、さまざまな問題が発生する。いまや、介護や終活と同レベルの人生後半のテーマと化している「実家の片づけ」を磯野家から学ぶ。

働き方の男女不平等 理論と実証分析

山口一男/著
日本経済新聞出版社/刊

本書は日米両国の男女間の雇用・賃金格差についての網羅的な分析の集大成である。著者は、女性の活躍が遅れている大きな原因として日本の雇用制度をあげ、「長時間労働や転勤などで雇用を保障される男性の働き方も見直すべきだ」と著者は提示する。

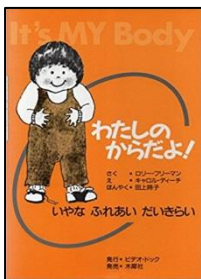




男尊女子

酒井順子/著
集英社/刊

政権が「女性の活躍推進」を掲げ、「セクシュアルハラスメント」という言葉も一般化するなど制度的な「男女平等化」は進みつつある。「あからさまな女性差別は姿を消しつつも社会の裏側や女性自身の中にも依然しっかりと存在している」と著者は暴き出している。



わたしのからだよ！いやなさわられかた だいきらい

ロリー・フリーマン/著 田上時子/訳
NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西/刊

わたしのからだはわたしだけのもの、誰のものでもありません。北米で、子どもへの性暴力防止のバイブルのように読まれていた“it's My Body!”を翻訳し、1990年5月に発行した絵本復刊版。子ども達に人生最初の性教育読本として届けたい。



ふたりのロツテ

エーリヒ・ケストナー/著 池田香代子/訳
岩波書店/刊

「子どもはつらいよ」ケストナーは子どもであることの喜びを生き生きと描き、同時に、ため息をすくい取ることに専念している。「どんなにひどい状況でも、生きることは喜ばしいのだということを忘れてはいけない」と伝えている。



裸足で逃げる 沖縄の夜の街の少女たち

上間陽子/著
太田出版/刊

沖縄の街の女の子たちが、家族や恋人や知らない男たちから暴力を受けながら育ち、そこからひとりで逃げて、自分の居場所をつくりあげていくまでの物語。著者が受け止め、聞くという行為に寄り添い、そこから信頼が始まった4年間の調査の記録である。



私の中のわたしたち 解離性同一性障害を生きのびて

オルガ・R・トゥルヒーヨ/著 伊藤淑子/訳
国書刊行会/刊

家族によって加えられたあまりにも残酷で不幸な性的虐待。精神を解離することによって生きのびてきた著者の物語。どのように傷つけられても、人はその痛みを克服し、立ち上がることができる。

情報コーナーの利用について

貸出：1人2冊まで、2週間（延長可）

対象：長岡京市在住・在勤・在学の人

※図書の貸出しには

「情報利用者カード」の登録が必要です。

カードの登録には、運転免許証など、本人確認が出来るものをお持ちください。

紹介した本は情報コーナーで貸出しています。
他にも同ジャンルの本や新着図書がたくさん
あります。職員におたずねください。

◇編集・発行◇

長岡京市女性交流支援センター
〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: josei-c@city.nagaokakyo.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時（日・祝を除く）